

「人」日測協スペーシャリストの会 早川和夫新会長

2023/11/29 中部版 掲載記事より

日本測量協会が認定している「空間情報総括監理技術者」にのみ入会が許される同協会の「スペーシャリストの会（SPの会）」。11月9日付けで2代目の会長に就任したのが、テイコク（本社・岐阜市）の早川和夫専務取締役だ。

開口一番、「測量の重要性を説き、測量技術の発展に貢献する」と決意を語る。「スペーシャリスト」は、空間を意味する“Spatial”と専門家を意味する“Specialist”からなる造語。会は空間情報技術の発展を牽引することを目的とし、現在は386人が名を連ねる。「技術士や博士資格を持つ熱意ある空間情報技術者集団。人材育成や講演会などを通じ、年々存在感を増している」。

早川氏は、2007年に3期生として入会。企画委員として、月1万4000部を発行する月刊誌「測量」への寄稿や書籍出版・編集、支部活動の立ち上げに奔走した。初の支部である中部支部の立ち上げに貢献、今では東北～九州で7支部が活動するなどの実績が認められての登板だ。

就任に当たり、支部活動活性化とSPの会の知名度向上、能力開発—の三つを方針に掲げた。その根底にあるのは交流だ。「ライバル企業や測量業界という垣根を越え、さらには講演会の講師を務めるなど“つながり”を持つことが鍵となる」とし、精力的に運営する覚悟だ。

地理空間情報活用推進基本法の施行後、業界は2次元デジタルから3次元デジタルへと急速に変化。情報インフラの生かし方も千差万別だ。「データの利活用を提言できる人材を育成し、技術者として社会に貢献していく」と先を見る。（岐阜支局＝信夫淳）

【略歴】

名城大学工学部卒。1984年（株）テイコク入社。営業企画部長や東京支社長を経て現職専務取締役経営企画本部長。2007年空間情報総括監理技術者資格取得、同年企画委員、09年中部支部創設・支部長就任、企画委員会代表委員を経て、11月から現職。岐阜県出身。64歳。



新会長に就任した早川さん